

# 黒潮

和歌山県看護協会 会報

平成27年10月発行

第133号

## 発行所

公益社団法人 和歌山県看護協会

〒642-0017

海南市南赤坂17

TEL:073-483-1005

FAX:073-483-1266

<http://www.wakayama-kangokyokai.or.jp>

## 発行人

古川 紀子



もみじ写真提供：公立那賀病院 赤井康行様 紀三井寺競技場写真提供：広報委員

## CONTENTS

- 地区支部だより ..... 2～3
- ふれあい看護体験 ..... 4～5
- 訪問看護ステーションだより ..... 5
- 保健師のコーナー ..... 6
- 助産師のコーナー ..... 6
- 看護師のコーナー ..... 6
- 専門認定看護師のコーナー(トピックス2015) ... 7
- 地域連携のコーナー ..... 7
- 看護師等の届出制度がはじまりました .. 8
- 医療安全数珠つなぎ ..... 8
- 私の〇〇 ..... 8
- リレーエッセイ 友達の輪 ..... 8
- My Hospital ..... 9
- ワーク・ライフ・バランス推進  
ワークショップに参加して ... 9
- 救急看護認定看護師教育課程 ..... 10
- 男の時短料理 ..... 10
- プレゼント ..... 10
- 和歌山県看護協会の動き ..... 11
- 自施設での職員を対象とした禁煙への取り組み .. 11
- 医中誌 Web を導入しました ..... 11
- 知って得する看護協会だより ..... 12

## 和歌山県看護協会 会員数

平成27年9月30日現在

会員総数	5,491名
名誉会員	1名
保健師	124名
助産師	200名
看護師	4,955名
准看護師	211名

# 地区支部

## 伊都地区支部

支部長 岩崎 留美

平成 27 年 5 月 13 日 (木) 10:00 ~ 13:00 開創 1200 年祭開催中の高野山において 1 日まちの保健室を開催しました。骨密度・血圧・体脂肪測定、栄養士による栄養指導等によつて 432 名の方々とのお会いがありました。例年と違い遠方から来られた方も多く、旅の途中の健康チェックで安心して帰路についていただけたと思います。今後は認定看護師さん達に活躍していただき、地域全体のレベルアップを図ると共に地域の方々に喜んでいただける活動をしていきたいと思つています。



## 那賀地区支部

支部長 大久保 まさ子

平成 27 年度地区支部集会及び研修会を 7 月 4 日に開催しました。摂食・嚥下障害認定看護師による「誤嚥予防の食事援助」について、93 名の参加があり、口腔摂取に関心が高い事がよく解りました。

次回は、「ボディメカニズムを考えた援助」を 11 月に開催予定です。

今後は、地区目標にも掲げたように他職種や他施設の方々と交流の機会を設け、連携強化に努めていきます。



## 和歌山地区支部

支部長 松尾 文美

5 月 16 日 (土) にセントラルシティオークワで「まちの保健室」を開催し、一般参加者は約 70 名でした。第 1 回研修会は 6 月 6 日 (土) に県立医科大学附属病院で開催しました。笑って元気になってもらおうと「みなさま楽しんでますか」をテーマに、わかやま楽落会の協力を得て行いました。会場は参加者 59 名の笑いで包まれました。現在、9 月 12 日の「まちの保健室」と 10 月 24 日の第 2 回研修会「患者をつなぐ看護」の準備中です。



## 海南・海草地区支部

支部長 清水 多津子

平成 27 年度地区支部集会及び研修会を 6 月 27 日 (土) に看護研修センターで開催しました。研修会の講師には、北須磨訪問看護・リハビリセンター所長の藤田愛先生をお招きし、「最期までその人らしく生きることへの支援とは」をテーマに講演していただきました。

事例をまじえた研修内容に、「その人らしく生きる」という意味を参加者それぞれが深く考える機会となりました。10 月には海南市健康まつりに参加する予定です。



# だより

## 有田地区支部

支部長 古川 さゆ

6月27日に平成27年度第1回研修会を開催しました。

テーマは、「認知症を正しく理解できていますか？～認知症をもつ人を支えるために～」と題し、認知症看護認定看護師の米田恭子先生に講演して頂きました。68名の参加者がありました。せん妄と認知症状の違いなどわかりやすく講演して頂き、最後に症例についてグループワークを行いました。講義を受けるだけでなく、いろいろな意見交換ができ良かった等の意見がありました。



## 日高地区支部

支部長 東 るみ子

7月25日に社会医療法人黎明会 健康増進施設アクトで支部集会および第1回研修会を開催しました。

テーマは、「笑いの医学的効用について」と題し、和歌山市内にある西本クリニックの西本真司先生にご講演いただきました。笑いが人体に及ぼす影響や、席を離れて笑い療法を実践するなど会場は盛り上がりました。参加者からは、「実技があってよかった」「日々の生活に活かせる内容」と好評でした。

9月21日に老人月間行事として御坊市の健康福祉まつりに参加、2月に第2回研修会を予定しています。



## 田辺地区支部

支部長 松元 由美

平成27年7月18日に予定していた第1回研修会が、台風11号の影響により順延となりました。改めて、平成27年10月10日(土)に開催いたします。

テーマを「高齢者看護の基本」として、「老人看護専門看護師 西山みどり先生」の講義を予定しています。田辺地区は超高齢化がすすみ認知症の方も多く、日々の看護場面での悩みも多いと感じます。少しでもヒントが得られればと思います。



## 新宮・串本地区支部

支部長 佃 瑞穂

8月8日に平成27年度第1回研修会を開催いたしました。

「地域の医療・介護に必要なもの」のテーマで、和歌山県地域医療支援センター副センター長 島幸宏先生にご講義いただきました。

参加者からは、「和歌山の医療充実のため、医師だけでなく他職種が一丸となって地域医療に関わる必要があると感じた」「総合診療医育成について理解できた」などの感想が寄せられました。今後も会員の希望に副う研修を企画したいと考えています。



# ふれあい

## 藤民病院

### 参加者の感想

和歌山北高等学校 榎本 裕日

今回初めて、お年寄の方とふれ合いました。その時に行った、体温測定と脈拍測定のむずかしさに驚きました。自分たちとは違って、脈拍が分かりにくく苦労しましたが経験できて良かったです。

元気な方の笑顔を見る時や、レクリエーションの時、すごく楽しかったです。

動かない体が少しずつ動くようになることや、できなかったことが、できるようになるということは本当にすごいことだということ学びました。

私も早く看護師になりたいと強く思いました。



藤民病院

### 施設側の感想

初めて目にする医療行為に戸惑いや驚きもあったと思いますが、実際に足浴を実施し人権学習にも参加され、短い時間での体験学習でしたが看護師の仕事の大変さと楽しさが実感してもらえたのではないかと思います。

上山 久美

## 新宮市立医療センター

### 参加者の感想

近畿大学附属新宮高等学校 宇井 杏佳

患者さんとのコミュニケーションがむずかしいと聞いていて、そんなことないと思っていましたが、実際にお年寄りの方々と接してみるとなかなかうまくコミュニケーションをとることができませんでした。でも、看護師さんは患者さんと本当に上手にコミュニケーションをとっていて、すごい一言でした。

患者さんの会話をしている姿を見ると本当にうれしそうでした。あんな看護師さんに私もなりたいたいと本当に思いました。

### 施設側の感想

今年度は12人が参加してくれ、車椅子の自走・血圧測定・松葉杖歩行等を体験していただきました。患者さんの話を真剣に聞き、積極的に質問をしたり、看護に関心をもっていることが分かりました。看護師の仕事を少し理解してもらえたかなと思います。西地 茉悠

新宮市立医療センター



貴志川リハビリテーション病院

## 貴志川リハビリテーション病院

### 参加者の感想

貴志川高等学校 3年 山崎 亜実

ふれあい看護体験に参加して、患者さんという立場で看護師さんを見てきましたが、今回の体験で看護師さんの立場で患者さんと接してみて、看護師さんがどのような仕事をしているのか気をつけている事などたくさん知る事ができ、とても良い勉強になりました。病院は、色々な科の先生がいてみんなの力を合わせ患者さんを治していくチーム医療がすごいと思い、私も将来看護師という職業に就きチーム医療の一員になりたいと思いました。



貴志川リハビリテーション病院

### 施設側の感想

患者さん一人一人に個性があるということを知ってもらえてうれしく思います。参加者のみなさんが将来、看護の道に進みたいと感じていただけたので良かったです。

藤井 照美

# 看護体験

## 恵友病院

### 参加者の感想

耐久高等学校 生駒 夏音

### 施設側の感想

看護の楽しさを少しでも感じてくれたでしょうか。足浴など緊張しつつも丁寧に  
行い、まぶしいくらいのフレッシュな笑顔  
を見せてくれ、患者さんも喜んでおられ  
ました。将来、看護の道を歩んでくれ  
ることを期待します！

西畑史子

ふれあい看護体験に参加し看護について多くのことを学ぶことができました。看護師さんの仕事を実際に見て、自分にできるかなと不安な面もありますが、看護をするやりがいや患者さんとのコミュニケーションの中で生まれる信頼関係はとても大きなものだ改めて感じることができました。看護師になって多くの人と関わり、人のためになる仕事をしたいという気持ち  
が今まで以上に強くなり、看護についてもっと知りたいと感じまし  
た。



恵友病院



和歌山県立医科大学附属病院 紀北分院

## 和歌山県立医科大学附属病院 紀北分院

### 参加者の感想

伊都高等学校 石井 里佳

### 施設側の感想

最初は緊張と不安でいっぱいだった  
学生たちも、患者さんとふれあうことで、  
少しずつ表情が和らぎ笑顔になっていま  
した。実際の看護を体験することで、看護  
のやりがいや責任の大きさについて実感  
できたと思います。

内田貴子

1日看護体験をさせていただいて、自分には向いていないかもしれないと、初めは思いましたが、看護師さんと患者さまの病室に行ったり、仕事を見せていただくうちに、看護師になりたい!。と改めて思いました。看護師の仕事は、自分が思っているより、とても厳しく大変であると感じました。でもやりがいがあることが多かったり、患者さんにありがとうや、元気に退院していく姿を見ると、自分もうれしくなることがわかりました。この体験をバネにがんばります。

## 訪問看護ステーションだより

訪問看護ステーション エンゼル 岸本 都美子

訪問看護ステーション エンゼルは、看護師 13 名、理学療法士 1 名、作業療法士 1 名の訪問スタッフ 15 名で「利用者様の思いに添った訪問看護が提供できる」を目標に訪問活動を行っています。

特徴としては、経験豊富なスタッフで小児からご年配の方・症状の軽い方から重い方まで幅広く対応できることです。

24 時間緊急時の対応をしていますので、ご自宅での生活を安心して継続して頂くことができます。

呼吸療法認定士を含む呼吸チームや嚥下チームでの関わりで、個々に応じた訓練プログラムを作成し、看護師が解かりやすく丁寧に説明し、訓練を継続しています。

利用者様一人一人が、在宅で過ごして良かったと思って頂けるように取り組んでおります。



## 保健師のコーナー

保健師職能委員 脇田 美恵



昨年度より保健師職能委員をさせていただき2年目になります。

県立保健所の保健師活動も、地区担当制から業務分担制になって15年以上が経過し、市町村でも保健師の分散配置が進み、保健師の横の連携が取りにくくなっています。私自身も事務的な業務量が増え、日々

事務仕事に追われているのが現状です。

保健師の活動指針が平成25年に改定され、「地区担当制の推進」「統括保健師の配置」「地区診断に基づくPDCAサイクルの実施」等保健師が今後取り組む方向性が示されました。

保健師職能委員会では、保健師職能集会、保健指導ミーティング、保健師交流会等の研修を通して、保健師活動指針の

普及、若手保健師の支援、保健師の交流を図っています。特に保健指導ミーティングでは、県立医科大学保健看護学部や医務課看護班の協力を得て実施し、私自身も多くの学びを得ることができました。普段の業務では交流がない所属の保健師仲間と知り合え、様々な刺激を受け、保健師活動の糧になっています。

今年度の保健師職能集会は、和歌山県福祉保健部健康局長の野尻先生に講師をお願いし、保健師活動指針から地域包括ケアシステムや地域医療構想についてもお話しいただき、保健師の役割・人材育成の重要性が再認識できました。今年度は国体関連行事のため、保健指導ミーティングは休止しますが、保健師交流会は1月に「保健師の実践活動」をテーマに実施します。皆さまのご参加をお待ちしています。

## 助産師のコーナー

助産師職能委員 松本 千寿



昨年度より助産師職能委員を務めさせていただいております。初めての院外での委員会参加で不慣れな私ではありますが皆様に助けていただきながら何とか活動できています。今ではすっかり慣れ、月に一度の委員会が楽しみの一つとなっています。

今年度はクリニカルラダー元年。今年の11月には日本全国でアドバンス助産師が産声をあげるようになります。助産師職能委員会ではラダー申請のための必須研修を企画、開催してきました。申請される皆様に効率良く研修をうけてもらいたいという思いで検討を重ねてきました。そのこと

がようやく実を結ぼうとしていることに喜びを感じています。

今後の展望として病院勤務の助産師も地域に飛び出そう、地域に根付いた活躍の場を広げて行こうを目標にして委員会活動を企画していく予定です。地域連携が叫ばれる時代、まだまだ助産師でなくては出来ない事が病院外にもあるはずですよ。

私の勤務する病院では残念ながら現在、産科は閉鎖しています。しかし、委員の方々の職場での活躍を聞くことが私にとっては良い刺激となっています。今の自分に何が出来るかを考え、見つめ直す絶好の機会であると感じています。常にポジティブシンキングで明るく前向きな助産師として頑張ろうと思っています。

## 看護師のコーナー

看護師職能Ⅰ委員 山本 初太郎



看護師職能委員会Ⅰの委員として2年目に入りました。「委員に・・・」とお声をかけていただいた当初は、「職能って何？」という有り様でした。調べてみると「職務遂行能力の短縮形」であると初めて知りました。また、看護協会員でありながら職能委員会活動については全くの無知でした。

そんなレベルから始まり、何もわからないまま委員会に参加しましたが、他の委員の方々に引っ張っていただきながら日々頑張っています。

今年度、看護師職能Ⅰの活動目標は

1. 看護職の役割を認識し、看護実践能力の強化をはかるための支援を行う

2. 看護職が健康で安全に働き続けるために、26年度の調査結果をもとに、改善に向けた取り組みを支援する
3. 県看護協会を中心とした各委員会・地区支部との連携強化とネットワークづくりを行い情報交換・意見集約を行うです。

看護師の「質の向上」「働き続けられる職場作りに向けた活動」「医療連携の確立」を行いながら、皆様の看護の力が最大に発揮できる支援は何かを考えていきたいと思っています。

看護師職能集会・三職能合同研修会の開催と、今年度も専門・認定看護師交流会、准看護師研修会、男性看護師交流会の開催を予定していますので、是非ご参加ください。研修会後のアンケートは今後の委員会活動や研修会の企画・立案の参考にさせていただきます。皆様の貴重なご意見を頂ければ幸いです。

## 看護師のコーナー

看護師職能Ⅱ委員 南 たえこ



和歌山県訪問看護ステーション連絡協議会の会長に就任して3年目になります。今年度は、看護師職能委員会Ⅱにも参加させて頂きました。委員会のメンバーは、どの方もパワフルでまだまだ自分も頑張らねばと気持ちを奮い立たせてもらっています。私が訪問看護を始めて20年になりますが、

この間にも高齢化は進み、疾病構造も複雑になり、社会情勢も大きく変動しました。それに伴い、介護保険の制定をはじめとして健康保険共々多くの制度改正があり、私たち看護職の役割やあり方も変わってきています。

日本看護協会が公表した「2025年に向けた看護の挑戦 看

護の将来ビジョン～いのち・暮らし・尊厳をまもり支える看護～」この策定にあたって特に留意したのは「看護職は様々な場で働いており、それらすべてを網羅できるビジョンを策定する」ということだったと坂本会長も話されています。例えば、地域包括ケアへの対応に重点が置かれていますが、それは地域の看護職だけに向けられたものではなく、全ての看護職が避けては通れないもの。急性期病院の看護職なら「いずれこの患者さんは地域へ帰っていくのだ」という視点をもってケアして欲しいということだそうです。これらを実現するために、まずは看護連携を強化し、「つなぐ看護の実践」を進めていきたいと考えます。それぞれの場で看護職がその力を発揮できるように、研修や交流会など戦略的に行っていきたいと考えています。

## 急性期病院における在宅看護専門看護師の役割

日本赤十字社和歌山医療センター 在宅看護専門看護師 戸石 未央



2013年度の認定審査で、在宅看護専門看護師(Certified Nurse Specialist in Home Care Nursing)を取得しました。専門看護師は、全11分野が特定されており、現在、全国で合計1466名いますが、在宅看護専門看護師は、CNSの中でも新しい分野ですので、22名しか認定されていません。

「急性期病院で、在宅看護？」と思われるかもしれませんが、在宅看護専門看護師は、訪問看護ステーションといった在宅の場だけでなく、急性期病院の地域連携室、行政機関、教育機関、地方議会などの様々な場所で看護を提供しています。生活する人々すべてを対象に、地域全体を見渡して、どのような看護が必要なのかを考え、住み慣れた場所で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、「実践」「コンサルテーション」「コーディネーション」「倫理調整」「教育」「研究」という6つの役割を果たしながら、それぞれの場で活動して

います。

現在、私は看護部(PFM)・患者総合支援センターに所属しており、看護職のみならず、医師・社会福祉士・事務職の方など他職種と共に、地域の関係機関との連携やスムーズな入退院支援システムの構築、退院支援・療養支援を実践しています。2025年を見据え、地域包括ケアシステムの構築が実現すべき目標となっています。「ときどき入院、ほぼ在宅」と言われているように、急性期の医療は、地域包括ケアシステムの中では中心ではなく、いかに早く元の生活の場に帰ることができる医療・看護を提供することが役割となっています。退院支援等実践を通し、院内外の看護職、福祉職等と協働しながら、「入院から退院まで」という看護ではなく、「退院後に患者が療養を継続する場(施設や在宅)での姿をイメージし、必要な資源を提供しながら関係機関と連携することができる看護」を提供したいと思っています。

## 地域連携のコーナー

### 南和歌山医療センター 地域医療連携室

地域医療連携係長 野々村 智子

地域医療連携室



南和歌山医療センターの正面玄関を歩いて直ぐ右手に事務職員(女性)が受付業務を行っており、早朝からお越し頂いた患者様の「困った!」にお答えしています。そこが地域医療連携室です。それでは連携室をご案内いたします。職員は25名。事務職員13名と看護師1名は、前方連携、予約変更、診断書記載、救急受診受付、を行っております。MSW(医療ソーシャルワーカー)3名とPSW(精神保健福祉士)2名、看護師5名は後方連携、医療相談、物忘れ外来(昨年4月「認知症疾患センター設置」)の業務を行いながら、肝炎助成制度の説明や高額療養費等はMSWを中心に、医療相談は看護師が対応しています。

連携室には相談室を2部屋設けており、患者・家族の

思いを傾聴し地域とのより良い連携を目指しています。

地域連携室は病院の外での活動も重要な事業です。当院は地域の医療機関、行政のご支援のもと【地域がん診療連携拠点病院】【肝疾患診療連携拠点病院】【地域医療支援病院】の施設基準を頂いています。その活動の中に、地域からのリクエストに答え、医師やコメディカルが地域住民の希望する場所に出向いて無料講座をおこなう「出張健康講座」を開催しています。講座は年間約100件、聴衆者数は延べ3,000人以上に至ります。2013年度に更新受審した日本医療機能評価機構による病院機能評価(Ver.1.0)では、「患者等急変時の適切対応」とともに「地域へ向けての医療に関する教育・啓発活動」で最高評価のS評価(秀でている)を頂くことが出来ました。このことは当院のチームワークの良さを支える地域医療連携室の活動の積極性をも反映するものだと自負しています。

今後も南和歌山医療センター地域医療連携室は、地域のあらゆる方々と良好な連携を築き、個の力を集結し、チーム力を発揮することで、「絶え間なく機能を向上させ続ける病院」と「高齢化に拍車をかけつつある地域」との橋渡しを続けてゆかねばならないと思っています。

地域医療連携室 前方連携



地域医療連携室 後方連携



2015年10月1日より 看護職の離職時等の届出制度がはじまりました。

看護師等の届出サイト

# とどけるん

2015年10月から「看護師等の人材確保に関する法律」が改正され看護職が離職時等にナースセンターへ届出を行うことが努力義務化されました。ナースセンターでは離職の段階より看護職の方の状況に合わせた支援（相談・情報提供）させていただきます。届出は「e ナースセンター」ホームページの専用サイト《とどけるん》から個人で登録、または離職時の就業先で行うことが可能です。

詳細は和歌山県ナースセンター TEL073-483-0234 073-483-1005

医療安全

数珠つなぎ

和歌山県立医科大学  
附属病院 紀北分院

谷川 聖子



## チームで取り組む医療安全

「医療安全管理者」を担当して3年目、多職種で構成するRM会のあり方に悩むことも多い。各自が問題を自部署の事として認識し「率直な意見交換が出来る場」として活用し、丁寧に事象に取り組まなければ意味がない。良好なコミュニケーションや人間関係も、RM会から発信し現場を活気づけたい。また、当院には心強い医事班長がいる。「医師や

看護師は自分の仕事をしてください。事務に出来ることはやります。」その言葉に恥じないよう、各部署が責任と思いやりを持ち、互いを理解し協働することで安全な風土に繋がるのではないかな。

次回号に紹介させていただく方は  
橋本市民病院 恋中理恵 様です

私の



## 《私の気分転換》

医療法人宮本会 紀の川病院 細川 拓也

高校卒業と同時に二輪免許を取得して以来、バイクに乗り続けています。ツーリングをしていると、それぞれ季節の風を肌で感じることができ、辛いことや苦しいことも吹き飛ばしてくれます。

最近、ご当地ラーメンやご当地グルメを求めてツーリングに出掛けることが仲間内でブームになっています。現在の相棒であるハーレーとは、2年の付き合いになりますが、これからも安全運転で大切に付き合っていきたいです。(鬼のようなローンも残っていますので・・・)

最後に、看護の道も事故なく安全運転で走っていきたいと思います。



ハーレー・ダビッドソン

リレーエッセイ

友達の

輪

Vol.52

和歌山県立医科大学保健看護学部 助教 丸岡 朋子

私は、主に老年看護学領域を担当し、実習を通して学生と関わる事が多いです。希望や不安を抱え、よき成長や経験をしたいという気持ちをもった学生に指導する責任はとても大きいものだと思っています。学生とは実習中の短い付き合いですが、ひとりひとりの小さな学びの積み重ねが見えるようになってきました。その小さな積み重ねをしっかりと作り、次へのステップに進む、その後押しをすることが、わたしの今の仕事です。



今回は、和歌山県立医科大学  
附属病院 看護師 東方文香 さん  
をご紹介します。



# My Hospital

## 公立那賀病院

当院は、和歌山県北部、紀の川市打田にある病床数 300 床の自治体病院です。

平成 11 年に現在の病院を新築し、早いもので今年で 17 年目に入りました。

地域の基幹病院として、また自治体病院として、「地域住民から『親しまれ、信頼される病院』を目指します」との理念を掲げ、職員一丸となって病院運営に取り組んできた 17 年だったように思います。

その中の一つ、『親しまれ』に通じる取り組みをご紹介します。

今年で 7 回目となりましたが、毎年 8 月の土曜日に「那賀病院市民健康フェスティバル」を開催しています。年々、多くの市民の方にご参加いただけるようになり、職員手作りの催しに、開催を心待ちにくださる方もいます。

市民公開講座をメインとし、全職員の協力で集めた看護部主催のバザー、職員が案内する病院見学ツアー、医師の指導を受けるメタボチェック・骨密度測定、AED 講習やクリーンハンドチェックなど、盛りだくさんに実施しています。また、栄養課と事務職員で作るカレーライスや



### 看護部長 角 さとみ

フランクフルト・かき氷などの販売には、列を成して食券を買い、楽しんでいただいています。

このような行事を通じ、職員と市民の方々が笑顔で触れ合える時間を大切にしたいと思います。そして、そうすることで、いつか患者や患者の家族として市民の方と関わりを持つとき、お互いをより理解しあえる関係を築けるのではないかと考えています。

毎年、暑い夏の、しかも休日にもかかわらず、自分たちも楽しんで参加し、協力してくれるスタッフに、本当に感謝しています。ありがとう!!



## ワーク・ライフ・バランス推進ワークショップに参加して

宇都宮病院 副師長 松岡 葉子

今回、WLB 推進ワークショップ参加に際して、看護職のインデックス調査を実施し、看護職の現状を把握する良い機会となりました。アンケートの結果、職場の満足度が高いことが分かりました。当院は 9 月末より電子カルテ導入、さらに地域包括ケア病棟を開設する予定です。看護の達成感がさらに向上できる様、看護の仕事を通して職務満足が得られる職場づくりを目指し、このワークショップを通して環境改善に取り組んでいきます。



平成 27 年 9 月 1 日に救急看護認定看護師教育課程が開講し、16 人の研修生が開講式に臨みました。これから共通科目、専門基礎科目、専門科目、そして演習、臨地実習の 675 時間を学ぶこととなります。この救急看護認定看護師教育課程は「救急医療体制の強化及び災害時における急性期の医療ニーズに対応する看護師の養成を図る」ことを目的としています。救急看護を通して、看護とは何かを追求し、論理的思考を養う学習を行っています。研修生は期待と不安でいっぱいですが、自施設に貢献できる救急看護認定看護師になるために頑張っています。みなさまのご支援のほどよろしくお願い申し上げます。



## 男の時短料理

## 第 1 回

国保野上厚生総合病院 林 清高

## 豆腐茶漬け



読者からのご要望にお応えして、男の時短料理コーナーを新設しました。

ぜひ掲載をという方がいましたら、看護協会まで応募してください。

### 材 料

ごはん、絹ごし豆腐、塩昆布、ゴマ、シソの葉（千切り）、だししょうゆ（めんつゆ）

### 作り方

1. どんぶりにごはん、豆腐、塩昆布をのせる。
2. 上からだししょうゆをかける
3. シソとゴマをのせる。好んでジャコや梅干をのせる。

### ポイント

季節に応じて、御飯の温度や出汁の温度を変えると年中食べられます。忙しいときなどにパッと作れ、サッと食べられるので、一度おためしあれ（笑顔）

## 第 22 回

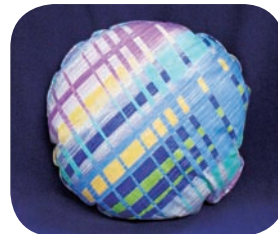
## プレゼント!

はがきに ①希望の商品名 ②氏名 ③会員番号 ④郵便番号・住所 ⑤電話番号 ⑥勤務先名 ⑦本紙へのご意見・ご要望を明記の上、11 月 25 日（水）までにお送りください。

（消印有効・1 人 1 通のみ）

抽選の上、当選者の発表は、賞品の発送をもって代えさせていただきます。

宛 先 〒 642-0017 海南市南赤坂 17 和歌山県看護協会 「10 月号プレゼント」 係



「足まくら」  
を  
2 名様に!

どちらか 1 つ  
当たります!

「図書券」  
1,000 円分を  
3 名様に!

## プレゼント 応募者の 声

- 表紙の写真を楽しみにいつも拝見しています。
- 多くの施設において認知症の人への看護が課題になっているので今後も看護のポイント等を掲載して下さい。

# 和歌山県看護協会の動き

## 平成27年度第4回理事会

開催日時：平成27年8月25日(火) 13:00～16:30  
会場：看護研修センター 会議室

### I 協議事項

1. 施設会員代表者会について
2. 看護協会への提案・要望について
3. 和歌山県ナース章推薦順位について
4. 和歌山県看護研修センターの利用料について

### II 報告事項

1. 日本看護協会理事会報告
2. 日本看護協会主催会議報告

3. 県内関連団体会議参加報告について
4. 離職時の届け出制度について
5. 「新看護研修センター完成記念誌」について
6. 各地区訪問看護ステーションなどへの出前研修について
7. 会員数について
8. その他

## 自施設での職員を対象とした禁煙への取り組み 那智勝浦町立温泉病院 西谷 益子

当院では、平成25年11月から、禁煙外来が開設されました。それに伴い敷地内禁煙になり、院内での喫煙場所もなくなりました。私たちが、20～30代の頃はナースセンターの休憩所内で当たり前のように喫煙していた看護職員がいましたが、今は、敷地内でも看護職員の喫煙を見かけることはなくなりました。しかし、病院内では我慢していても勤務時間以外は、喫煙しているようです。自身の健康の為にはもちろんの事、喫煙してから病院の仕事に就くことだけでも、患者様や他の職員にも受動禁煙の害を及ぼしていることとなります。

私は、当院の禁煙外来に関わるようになってから1年半くらいになりますが、他の外来では見ることの出来ない患者様の隠れたところに気付くことがあります。例えば、禁煙外来に通院している患者様が禁煙されたために、顔色口唇色が赤みをおびてきます。その事実を

伝えると患者様は喜んでくれます。そして、何より感激するのは、明るくなり、素直な方に変化していきます。このことは、禁煙外来の回数が進むとわかりやすくなってきます。禁煙外来での患者様の変化に気付くことで看護職員自身も前向きに禁煙に取り組んでいく事が出来ればと思っています。

喫煙は、楽しみのひとつであるかもしれませんが、このように患者様が変化しているという情報提供を喫煙中の看護職員に伝達していくことで、禁煙開始の動機づけに繋がると予測されるので根気よく話していく事も大切かと思っています。

禁煙する職員が増えた場合、前向き思考や仕事に対する意欲の向上により、看護の質の向上に繋がっていくのではないかと思います。

## 医中誌 Web を導入しました

平成27年4月、海南市への移転を機に図書室の整備をおこないました。図書管理システムを利用した蔵書管理を導入し、図書の貸し借りをシステム化しました。

また、図書室内にはネットワーク環境を整えたパソコンを2台配備し、文献検索サービス『医中誌 Web』を導入しました。医中誌 Web とは、医学中央雑誌刊行会の国内医学論文情報のインターネット検索サービスです。日々の看護ケアに関する最新の知見や看護研究における文献検索などにご活用いただきたいと考えております。

図書室利用に関する詳細は、当協会のホームページを

ご参照ください。会員の皆さまのお越しをお待ちしております。



### お詫び

平成27年8月発行 第132号において 医療安全数珠つなぎの記載者は、栗原久美子様の誤りでした。深くお詫び申し上げます。



●発行責任者／看護師職能委員長 I 澤田 康幸 ●編集／看護師職能委員会

## あなたのために、できること あなたに、できること

### ～ナースマンの1週間～

仕事に子育てに、がんばっているナースマンの1週間をご紹介します。

家族構成：妻と幼稚園の子供2人の4人家族

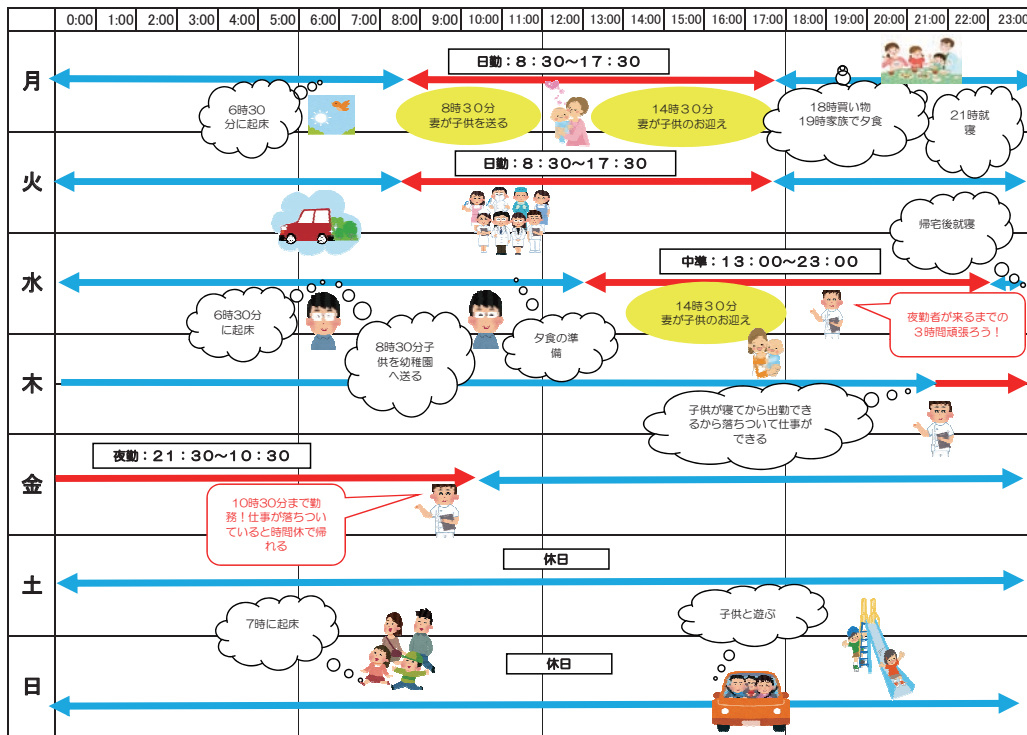
現在の勤務の状況：変則2交代勤務

日勤 8：30～17：30 中準 13：00～23：00 夜勤 21：30～10：30

休憩時間：中準1時間 夜勤2時間

各勤務の看護師人数：日勤 7名 中準 3名 夜勤 2名+補助者1名

#### ナースマンの一週間(変則2交代制)



#### 質問コーナー

Q1：勤務でよかった点はなに？

A1：16時間の夜勤と比べて時間が短縮され、精神的に楽になった。勤務の始まりが、患者さんたちが就寝後であり、落ちついた状況から勤務を開始できるのがいい。

Q2：勤務でよくない点はなに？

A2：少しの間だけ準夜のワークシートを出さなければならず、情報収集に時間がかかることがある。

Q3：有給休暇はとれるの？

A3：消化状況はあまり変わらないが、夜勤明けに9：30に業務が終了していれば、1時間の時間休を取ることができる。

Q4：奥さんや子供さんの反応はどんなの？

A4：幼稚園の迎えと一緒に夕食を食べたり、家族で過ごす時間がとれて喜んでいる。